

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所理事長
(任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日)の選任理由について

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所(以下「産技総研」という。)は、産業技術その他の科学技術に関する研究開発、技術支援等の業務を総合的に行うことにより、産業技術その他の科学技術の向上及びその成果の普及を図り、もって県内産業の発展及び県民生活の向上に資することを目的とする法人である。

産技総研は、この目的を達成するため、県が定めた中期目標に基づき中期計画及び年度計画を定め、適正かつ効率的にその業務運営を行うことが要請されている。そのため、産技総研を代表する理事長には、公共性の視点を有し、知識と経験を基に、適切に業務運営を総理できる人物が求められている。

北森武彦氏は、東京大学の工学部長等を経て、平成24年4月から2年間にわたり同大学の副学長を務めており、組織経営に対する高い見識と、公共的組織における豊富なマネジメント経験を有している。

また、産技総研の前身団体の一つである公益財団法人神奈川科学技術アカデミーの時代より、現在に至るまでの事業推進に関与していることから、産技総研の業務及び社会に果たすべき役割についても十分理解している。

さらに、研究者としては、マイクロ化学分野において顕著な業績をあげ、ノーベル物理学賞・化学賞の選考授与機関であるスウェーデン王立科学アカデミー会員にも選ばれるなど、研究開発から産業化までを俯瞰できる高い見識を有するとともに、多数の教授等を輩出し、研究成果を社会実装できる人材育成にも貢献している。

そして、令和5年に産技総研の理事長に任命後、「運営から経営へ」の理念のもと、業務運営を適切に総理しており、5つの事業の柱である、「研究開発」、「技術支援」、「事業化支援」、「人材育成」、「連携交流」において、着実な成果を挙げている。

こうしたことから、北森武彦氏は、産技総研の理事長として最適な人物であると考え、理事長に任命する。